

第4回

ほんじいの原っぱ

学習時間

30分

学習日

月 日

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

筆者は、バッタの顔の形には「仮面ライダータイプ」と「ねずみ男タイプ」があると考えている。トノサマバッタは「仮面ライダータイプ」である。

以前なら、あちこちにいくらでもいたトノサマバッタが、こんなにもへってしまったのは、いったい、どうしてなのでしょう。

しかも、シヨウリヨウバッタやオンブバッタなどは、まだまだ、けっこう見られるというのに……です。これには、大きく分けて、ふたつの理由が考えられます。

ひとつは、単純に、「原っぱが少なくなったこと」。都市化が進むにつれて、今まで草原だった場所が、ほとんど駐車場やマンションなどになっていくのは、だれもがしよっちゅう、見たり聞いたりしていることでしょう。そして、もうひとつは、「ほんじいの原っぱが少なくなったこと」です。

野球のグラウンドやサッカー場、大公園のしばふ広場などは、じつは、ほんじいの原っぱとはいえません。(X)、そこには、ほとんど草が生えていなかったり、人工しげがはりめぐらされていたり、しばばかりが生えていたりして、いろいろな種類の野草が、自然なすがたで生きているわけではないからです。もちろん、バッタたちの大好物の、大人のひざたけぐらいの高さのイネ科の野草も、ほんのちよつとしかありません。

わたしは、*かせんしきなどを、小高い土手の上などから見下ろすたびに、いつもこう思います。「原っぱを原っぱとして、残すことができないものか」と。そういう場所です。目に入ってくるのは、ほとんど、野球場、ゴルフ場、サッカー場などです。たしかに、そのよくなスポーツをする人は多いでしょうし、それらをする場所をほかにはなかなかつくることができないでしょう。(Y)、一方で、そのようなスポーツができない人も、好きでない人もたくさんいるのです。家族連れが休日にお弁当を広げたり、お年寄りがのんびり散歩を楽しんだり、小さな子供たちがシロツメクサの首かざりをついたり、お父さんがおすこにトノサマバッタのつかまえ方を伝えたりする場所だって、とても大切なのではないのでしょうか。「仮面ライダーのピンチ」は、「原っぱ遊び



今回の問題文

トノサマバッタがへってしまった理由は何だろう。



問一

①、トノサマバッタのすめる場所がへってしまったじょうきょうのことを何と表現していますか。文中から十字で書きぬきなさい。

Blank grid for writing answer 1.

問二

②、どのような原っぱを残したいのですか。「原っぱ。」に続く形で、二十四字で書きぬきなさい。

Blank grid for writing answer 2.

問三

(X)・(Y)にあてはまるものを次の中から一つずつ選び、記号を書きなさい。

- A だから イ しかし
ウ なぜなら エ ところで
X 〳 Y 〳

問四

③の例として、問題文に書かれていないものを次の中から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- A 家族連れがお弁当を食べる。
イ お年寄りが散歩を楽しむ。
ウ 小さな子供がシロツメクサの首かざりをつくる。
エ お兄さんが野球の試合をする。

問五

④の例を、文中の言葉を用いて五十文字以内で書きなさい。

Blank grid for writing answer 5.

30

25

20

15

10

5

のピンチ」でもあるのです。

このように、人間が原っぱをつぶしてしまふことはとても多いのですが、ときどき、ぎやくに、^④気がつかないうちに、原っぱを新たに作りだしていることもあります。

たとえば、最近、あちこちのJ・Rの^⑤機関区や操

車場などが、合理化や鉄道による貨物輸送の減少などのえいきょうではいしになり、かつて、たくさんの電気

機関車やディーゼル機関車、貨車などが走り回っていた所が、大きな原っぱに変わったりします。すると、たちまち、どこからやってきたのか、トノサマバツタがたくさん見られるようになったりもするのです。

トノサマバツタのすめる原っぱや、水辺の野鳥たちのオアシスである*しつ地は、都市部では、今、ほんとうにわずかしかありません。大しばふ広場とか親水公園とか、名前や見かけは、^⑤それらにたものはけっこうあるのですが、しつかり観察してみれば、やはりまったく別のものであることがわかります。

わたしは、ここで、もう一度、自然のままの原っぱやしつ地の大切さ、楽しさを見直し、少なくとも、運よくげんざいでも残っているものは、全力で守りぬぎ、また同時に、新たにわたしたちの手でつくりあげてゆかなければならないと思うのです。

55

50

45

40

35

問六

——^⑤が指しているものは何ですか。文中から二つ書きぬきなさい。

問七

問題文に書かれた筆者の考えとしてあうものを次の中から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア かせんしきに大きくなればふ広場をつくり、子供からお年寄りまでが楽しく遊べるようにするべきだ。
- イ 一度原っぱをつぶしてしまつた場所には、もう一度新しく原っぱをつくることはできない。
- ウ 都市部の大しばふ広場はきちんと整備されているので、トノサマバツタがたくさん見られる。
- エ わたしたちは、今ある自然の原っぱを守ると同時に、新たに原っぱをつくらなければならない。

《言葉の意味》

- * かせんしき 河岸にひろがる平坦な土地。
- * 機関区 機関車が整備・点検を受ける所。
- * 操車場 列車をつないだり切りはなしたりする広い所。
- * しつ地 しつつけの多い、じめじめしている土地。

佐々木洋

『ほくらはみんな生きてる——都市動物観察記』

(講談社刊)

答えは『答えと考え方』